

(様式2)

令和 元 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |            |  |
|---------|-----------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1570200996      |            |  |
| 法人名     | 医療法人立川メディカルセンター |            |  |
| 事業所名    | グループホーム 晴遊庵     |            |  |
| 所在地     | 長岡市大字日越337番地    |            |  |
| 自己評価作成日 | 令和元年8月3日        | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1570200996-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1570200996-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 評価機関名 | 公益社団法人新潟県介護福祉士会              |
| 所在地   | 新潟県新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階 |
| 訪問調査日 | 令和元年9月26日                    |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が医療法人であり、併設に病院と老健があるので、ご利用者・ご家族・職員とも医療面において安心できています。併設施設には、認知症認定看護師とリハビリスタッフ・栄養士がおり、些細な事でも相談できます。

居室は窓が大きく明るい間取りで、トイレ・洗面台が備え付けてあり、ベッド・テレビ・たんす・クローゼット・テーブル・椅子が装備されています。市内が一望できるロケーションで日当たりも良く、更に天井が高い構造になっているので、開放的で心地よく過ごせます。丘陵を吹き渡る自然の風を感じ、職員もやる気が湧いて、チームワークも良好で穏やかな雰囲気です。

地域の方に庵を知っていただく事から始めた「地域の方との交流を目的とした行事」をほぼ毎月行っています。地域への回覧「笑顔」で地域交流行事のご案内と、認知症やグループホームについてのなどの情報を掲載して地域に発信しています。

冬以外はドライブや外出などの行事を多く計画しており、個別の買い物や外出もできるだけ対応しています。

職員が作り上げた理念「私達は大切にします。あなたの笑顔 あなたの元気 あなたらしさ」を掲げ、自立支援のケアに取り組んでいます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

#### ○地域密着型サービス事業所としての役割と暮らしの実現

高台に位置する大型施設の脇に広々とした畑や草花に囲まれた木造玄関の平屋の建物はホッと一息感じさせる当該事業所、グループホーム晴遊庵である。毎月地域に発信される回覧「笑顔」は、色鮮やかで楽し気なイラストで構成され、事業所主宰の行事案内や認知症理解に役立つ情報が記載されている。地域住民交流目的の事業所行事(餅つき、おはぎ作り、そうめん流しなど)は、地域関係者の意見や協力を得ての企画、準備、運営となっている。住民、家族の多数参加のもと、盛大に毎年実施されている。行事開催10年目にして、地域活動の一拠点としての位置づけされたと感じられる。また、利用者の日々の暮らしの中にも地域住民協力による野菜作りや収穫、野菜のおすそ分け、毎月行われるカラオケでの交流、園児の訪問、町内夏祭りの参加など、地域の一員としての利用者の暮らしがある。地域密着型サービスの役割を実現する取り組みが日々行われている。

#### ○利用者一人ひとりのペースを尊重した暮らし

山野を見下ろす開放的な窓、木造吹き抜けのリビングルームに利用者はゆったりとソファーに腰を下ろし、「ここはいいところだ」と笑顔で話す。集団生活にありがちな雑然とした空間、窮屈な時間の拘束は感じられず、静かに時が流れている。理念である「笑顔、元気、らしさを大切に」が利用者の姿に見えている。特別な生活ではない、一人の思いを大切に、らしさを基本に寄り添って、笑顔を引きだそうと様々な企画をに奔走する職員の誠実さ、そして大自然の恵みがこの暮らしを実現しているようだ。職員は笑顔で「一人ひとりの顔がみえ、仕事が楽しい」「将来自分も入りたい施設だ」との言葉が聞かれる。利用者、介護者共に満足した暮らしが実現されている。